リグノフェノール事業化は第２段階へ

地域戦略研究所　藤本栄之助　安井裕彦　岡田清明

平成 19 年から、科学技術振興機構(JST)の補助金を受けて開始して以来、林野庁、経済産業局、総務省および農水省などの支援を継続して受けながら、工業的なプロセス開発に努力を重ね、かつ商品開発に注力してきた成果を得て、木材系接着剤や含浸材、塗料、透明性難燃樹脂などで特徴ある機能性商品を世に出すことに成功した。

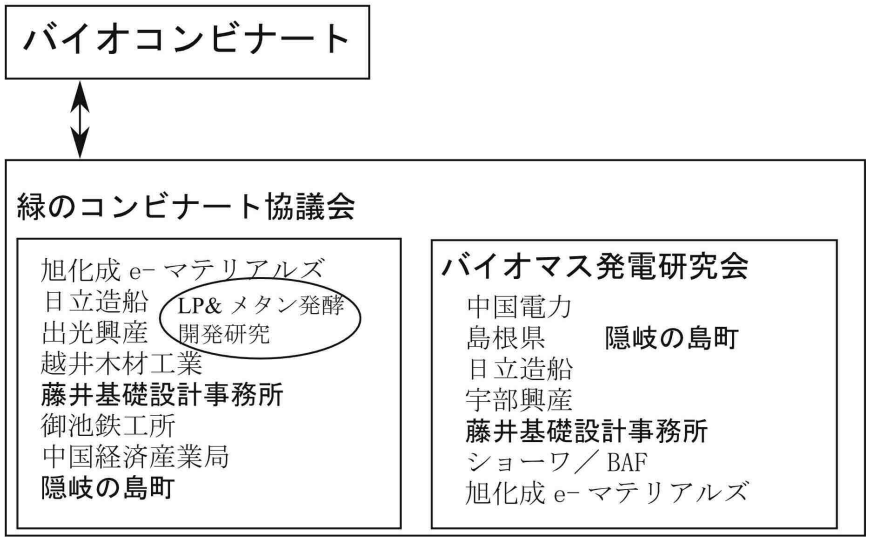
かかる成果は隠岐の島町のご支援と「緑のコンビナート協議会」を組織して機能的に活動したことで得られたものである。

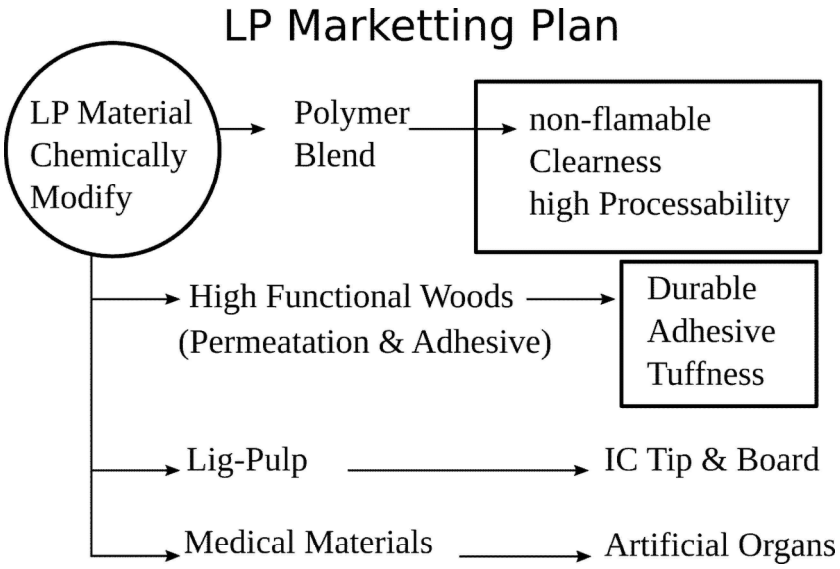
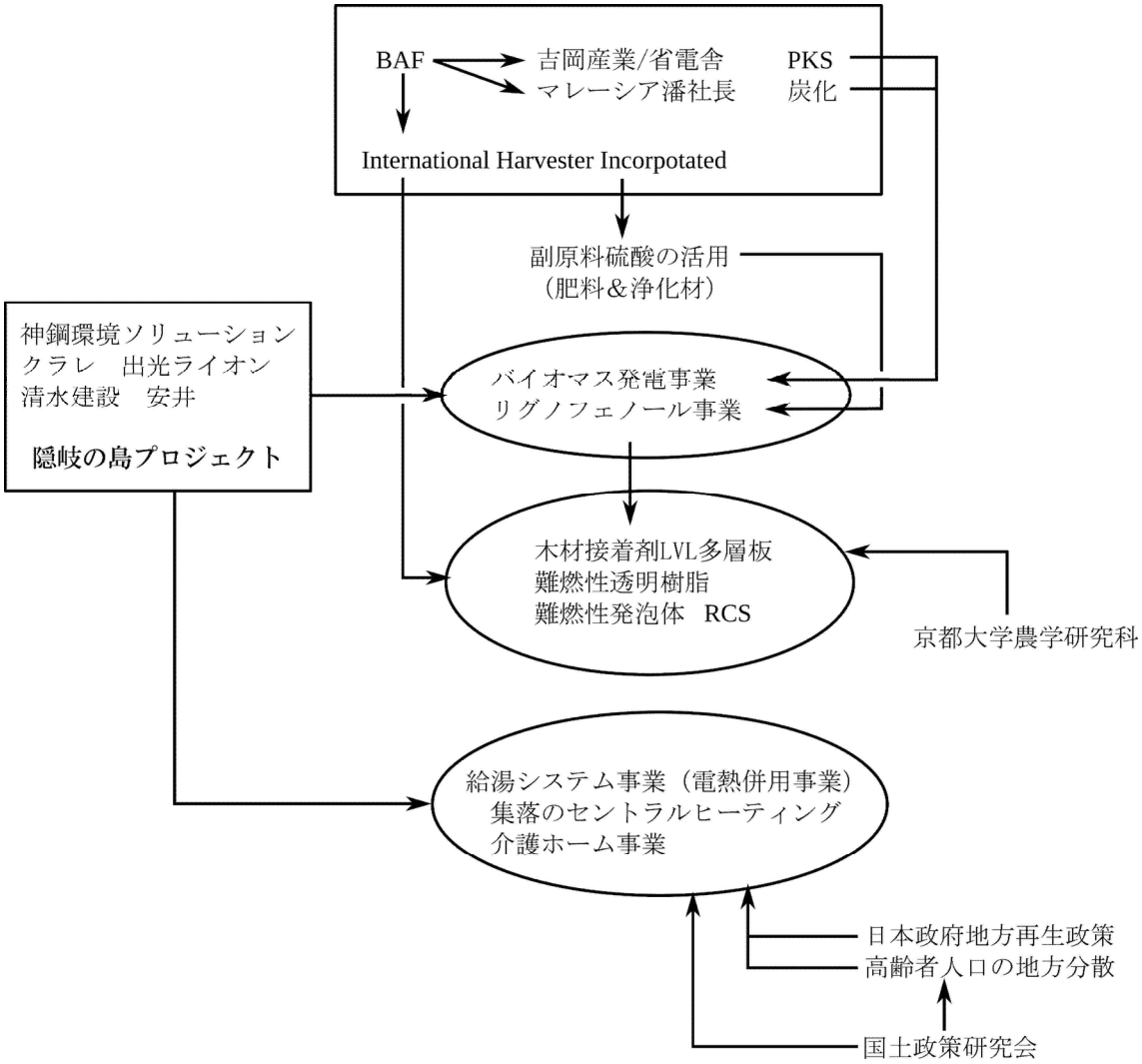
このような成果と実績が大企業の目に留まるようになり、近年になって出光ライオン・コンポジット、神鋼環境ソリューション、清水建設および越井木材工業などが積極的に事業化に向けた共同開発活動に参加するようになった。

また、リグノフェノール事業化テーマは「緑のコンビナート協議会」という独特の組織の下で推進したことで、バイオマス発電事業と並行して開発したことが、その成果を大きく拡大することになり、多くの大企業の注目を集めるようになったことも特記しておきたい。

これから多くの特許を出願して技術成果を保護するとともに会社の知的財産として蓄えていくために、具体的な記述をここにできないことをお詫びして、研修会資料として報告する。

隠岐の島エコアイランド構想図





バイオマス事業ビジネスモデル